



士別翔雲高校だより

学校通信 第172号 令和6年12月16日(月)発行 校訓「一歩前へ」



奈良・京都・東京 見学旅行 10.29~11.02

2年生が10月29日(火)から11月2日(土)にかけて
4泊5日の日程で見学旅行に行ってきました。



新千歳空港から伊丹空港へ

朝7時といういつもより早い集合時間でしたが全員遅れることなく集まり、出発することができました。出発式では団長と生徒代表の挨拶があり、心を一つにバスに乗り込みました。飛行機では飛び立つ際に歓声上がり、明るい雰囲気の中伊丹空港へ出発しました。

東大寺

飛行機を降りバスで向かったのは奈良公園。ガイドさんの案内のもと、東大寺の見学をしました。大仏の圧倒的な大きさと神秘的な雰囲気に、生徒たちは圧倒されたようです。この日の夕食は旅館でのすきやきで、クラスメイトと鍋を囲み移動の疲れを癒やしました。

関西自主研修

2日目はグループでの1日自主研修でした。班ごとに決めた計画に沿って、関西の街を巡りました。見知らぬ街を歩く中で、北海道との違いを感じ、そこでしかできない体験をして楽しい思い出を作りました。

清水寺

3日目のスタートは清水寺でした。清水の舞台からの美しい眺めを見て、音羽の滝など周囲を見学しました。おみくじを引いたり、付近を散策して京都らしいスイーツを食べたりして、それぞれ思うままに楽しんでいました。

東京ディズニーランド

4日目はグループに分かれ、ディズニーランドでアトラクションやパレード、美味しい食事を楽しんでいました。帰りは大きな袋にお土産を詰めて、名残惜しそうにホテルへ帰ってきました。天候に恵まれ、東京の暖かさの中、夢の国を満喫できたようです。

東京自主研修

最終日は東京での自主研修でした。京都や大阪とは違う、流行の最先端を行く街に目を輝かせ様々な場所を巡りました。楽しい時間を過ごしながらもルールを守り、時間内に空港に集合することができました。

全員が無事に、お土産と思い出をたくさん抱えて帰ってきました。日本の文化に触れることはもちろん、集団行動の大切さ、ルールを守ることの意義など沢山のことを学ぶことができた素晴らしい見学旅行となりました。

見学旅行で学んだことを今後の学校生活にも活かせるよう教職員一同サポートしていきます。



士別市・和寒町インターンシップ

11月12日(火)、士別市役所、和寒町役場にて行われたインターンシップに2年生5名が参加しました。職場見学や業務体験、職種や仕事内容に関する説明が行われ、職員の役割や日々の業務について知り、地域住民の生活を支える仕事の重要性や責任の重さを実感したようです。

2学年進路別ガイダンス

11月13日(水)、2学年を対象に進路別ガイダンスを行いました。大学・短大、専門学校、看護、民間就職、公務員の5つに分かれ、それぞれ外部講師の方をお招きし、卒業後の進路について講話をいただきました。3年生0学期のスタートとして、具体的に進路実現に向けて準備をすすめ、1年後の進路決定につなげるべく邁進することを期待します。



介護職場体験

11月16日(土)、2年生8名が、特別養護老人ホーム士別コスモス苑で行われた介護職場体験に参加しました。福祉・医療分野の就業体験を通じて、仕事内容を知り、自らの職業適性を考える機会を提供することを目的としており、生徒たちは、現場の温かさや大変さを肌で感じたようです。

寺子屋

本校では、考査前に「寺子屋」を実施しています。これは、勉強に不安を感じる生徒や苦手分野を克服したい生徒が放課後集まり、各教科の指導を受けながら学習する場です。多くの生徒が参加し、生徒同士で教え合いながら、互いに学力を高め合っていました。

3年冬期講習

12月14日(土)から28日(土)、1月8日(水)から14日(火)にかけて、3学年の冬期講習を行います。教職員一同全力でサポートし、細かな疑問や不安に丁寧に対応します。1・2年生対象の講習も12月21日(土)、22日(日)、24日(火)~28日(土)に実施し、基礎学力の定着や、進級後に向けた準備に取り組みます。

総合ビジネス科学生カフェ

総合ビジネス科3年生が運営する学生カフェが、カフェ&ゲストハウス エストアールにてオープンしました。11月19日（火）のグランドオープンでは、生徒だけでなく一般のお客様も来店され、賑やかなスタートを迎えることができました。今後は12月17日（火）、1月14日（火）、2月25日（火）、時間は15時30分～17時30分でオープン予定です。



1 学年性に関する教室

11月7日（木）、1年生を対象に「性に関する教室」を行いました。出張専門開業助産師の吉田征子さんをお招きし、男女の身体の変化、性行為に関する正しい知識、性自認の多様性等について学びました。

エキスパート講話

11月8日（金）、エキスパート講話を行いました。講師には元プロ野球選手の大引啓二さんをお迎えし、野球を通じて学んだ人生観をもとに貴重なお話をいただきました。特に印象的だったのは、「迷ったときこそあえてつらい道を選ぶ」という話です。挑戦を続けることで自分の成長につながると語る姿に、生徒たちも深く感銘を受けている様子でした。



この通信は阿部新聞店様、道新平中販売所様、道新鈴木販売所様のご厚意により、地域の皆様に無料にて配布させていただいております。
〈発行者〉北海道士別翔雲高等学校 担当：総務部
〈電話〉0165-23-2914 〈FAX〉0165-23-2911
〈ホームページ〉<http://www.s-shoun.hokkaido-c.ed.jp/>
〈E-mail〉s-shoun@hokkaido-c.ed.jp

上記のホームページ（もしくは右記のQRコード）でカラー版をご覧ください。

その他生徒達の活動は随時学校INSTAGRAMにて更新しておりますので、そちらも是非ご覧ください。



高校の勉強は大学で役に立ちますか？

名寄市立大学保健福祉学部教養教育部 教授 メドウズ・マーティン 氏

In most universities in Japan, you must take some English classes in the first and second years of study. At Nayoro City University, students study English and English Communication for a total of about 90 hours over two years. However, compared to high school, this is not very much time. In high school, classes are shorter at 50 minutes, but most students have English classes between 3-5 times a week. Scientific studies of learning and the brain tell us that regular, daily study of a subject leads to better learning results. For most students who don't major in English at university, study time is not enough to make big improvements without extra effort.

On the other hand, high school students can make good progress in English because they have continuous, regular exposure to the language. It is possible to achieve a good level of fluency in English at high school. If you do, this will be very useful for you at university. You can understand research that comes from around the world. You can more easily interact with foreign students at your university, and take advantage of study-abroad programs.

The goal of studying English in Japan is to gain the skills necessary for accessing global knowledge, and for communicating Japanese culture and values to the world. Being able to communicate in a second language gives you benefits that last your whole life.

日本のほとんどの大学で英語は必修科目です。週当たりの授業時間数は、方針や履修コースなど大学によって異なりますが、英語を専攻しないほとんどの学生にとって、1年次、そしておそらく2年次には、週1～2回、90分の授業が行われると考えていいでしょう。名寄市立大学では現在、1年次と2年次に英語の授業があり、週1回90分の授業で合計90時間です。

高校の英語の授業と比べてみましょう。確かに授業時間は50分と短いですが、ほとんどの学生は週に3～5回の授業を受けています。そのため、より継続的に英語に触れることができます。短期記憶の保持と学習に関する研究では、このように学習対象に定期的に触れることで、より良い学習効果が得られることが明らかになっています。英語を専攻していないほとんどの大学生にとって、英語に触れることは不十分であり、英語クラブや留学プログラムなどの課外活動なしに外国語能力を向上させることははるかに難しいです。私の名寄市立大学での経験では、ほとんどの学生は高校卒業レベルの英語力を維持できるのは最初の2年間だけです。その後、3年次や4年次に英語の選択科目を取らないと、使えないためにレベルが下がってしまいます。

英語が将来のキャリアに役立つかどうかという質問は、よく聞かれることです。語学教師であり、3カ国語以上を話す言語学者でもある私の偏見かもしれませんが、外国語を学ぶことは一生役立つものであり、将来の進路に多くの扉を開くことができると信じています。

高校では、英語で実際に大きな進歩を遂げる機会があり、このスキルは大学でも大いに役立ちます。世界では、ほとんどの研究が英語の論文やプレゼンテーションで報告されています。高校卒業までに英検2級以上、またはTOEIC600点以上とほぼ同等のレベルに達することができれば、自分が選択した分野の世界的な研究の多くにアクセスし、理解することができるようになります。大学では留学生との交流も深まり、留学の機会も増えるでしょう。基本的な外国語学習は、ややもすると機械的で定型的なものになりがちですが、結局のところ、外国語はコミュニケーションがすべてであり、そこに語学学習の喜びと充実感があります。高校生のうちに、コミュニケーション能力の高い英語レベルに到達することは可能です。今からしっかり勉強して、視野を広げてください。英語では、「The world is your oyster!」という表現があります。牡蠣はなかなか開きづらいが、中に真珠が入っていることもあります！頑張って開ける価値があります。

次回予告 2月号 「高校生に求められる力、大学が高校生に期待することは？」 名寄市立大学保健福祉学部教養教育部 教授 荻野 大助 氏

【1月行事予定】

- 1日（水）元日、学校閉庁日（～1／3）
- 6日（月）3年共通テストKーパック①
- 7日（火）3年共通テストKーパック②
- 8日（水）3年冬期講習②（～1／14）
- 11日（土）2年総合学力テスト・1月
- 13日（月）成人の日
- 15日（水）授業料口座振替日
- 16日（木）冬季休業明け全校集会、身だしなみ指導、休み明けテスト
- 18日（土）大学入学共通テスト①、1年総合学力テスト・1月
- 19日（日）2年公務員模試③、2年勉強合宿①
- 20日（月）大学入学共通テスト②、全商情報処理検定試験②、2年勉強合宿②
- 21日（火）スキー授業①、3年大学入学共通テスト自己採点
- 22日（火）スキー授業②、図書館バス
- 23日（木）スキー授業③
- 24日（金）スキー授業④
- 25日（土）英検③一次
- 26日（日）全商簿記実務検定試験②
- 27日（月）スキー授業⑤、3年国公立大学二次対策講習（～2／21）
- 28日（火）スキー授業⑥
- 29日（水）総ビ科発表会
- 30日（木）スキー授業⑦
- 31日（金）スキー授業⑧、漢字検定③

【2月行事予定】

- 1日（土）3年生家庭学習期間（～2／27）、2年看護模試④
- 2日（日）2年公務員模試④
- 4日（火）全商商業経済検定試験
- 5日（水）図書館バス
- 6日（木）考查一週間前
- 8日（土）合同スキー授業
- 10日（月）2年大学入学共通テスト早期対策模試・2月
- 11日（火）推薦入学面接日
- 12日（水）建国記念の日
- 15日（土）後期期末考查（～2／15）
- 15日（土）土曜授業
- 17日（月）身だしなみ指導
- 18日（火）3年登校日
- 20日（木）特別清掃週間②（～2／27）
- 23日（日）天皇誕生日
- 24日（月）振替休日
- 25日（火）授業料口座振替日
- 27日（木）PTA研修会
- 28日（金）卒業式予行、同窓会入会式

